RKU
つながる新聞
特報版

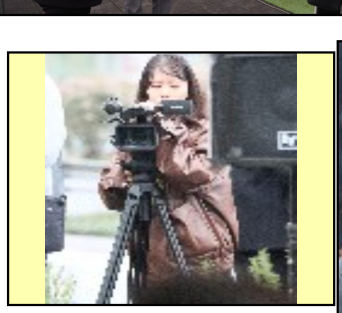
出会い広がる、つながる笑顔

冷雨の中、十一月二十六日に行われた「であう広場」。新松戸キャンパスに様々な人が集い、笑顔で一日を過ごした。寒さに震えながら、触れ合う心が参加者の心を温めた。

キャンパス中に広がった笑顔が、アートの持つ力を、人が人に出会う楽しさを物語った時間。その貴重な瞬間を学生カメラマンのレンズが追いかけた。

会場運営、流大生が担う

会場を沸かせた春風亭昇々さん（左）と中嶋涼子さんのトーク



多彩なゲストがキャンパスに集う

市民と交流、まなざし温かく

「であう広場」にはその趣旨に賛同していただいた、たくさんのゲストや仙台育英、成城高生も参加。市民や学生との交流を通じ、その温かいまなざしが愛情いっぱいに降り注がれた。

トークの後は「かくし芸」が披露されたり、お楽しみ抽選会も行われ、参加者は抽選券を睨んでドキドキの連続。

当たりが決まるたびに歓声が沸き起こった。

会場には来年度に流通経済大学の入学を目指す車椅子の受験生も来訪。車椅子の生活をメディアに発信することで「心のバリアフリー」の広がりを目指している、車椅子インフルエンサーの中嶋涼子さんと交流した。

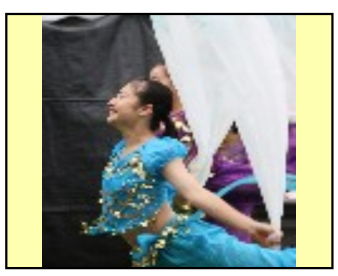
中嶋さんは「多くの方とお会いし、とても濃密な一日でした」と話していた。

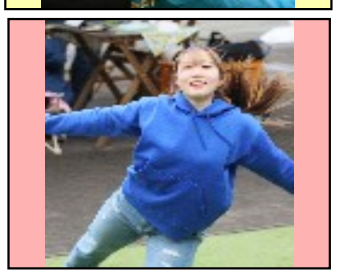
雨にも負けず…

市民、学生、職員…ひとつになれた！

学生アーティストも躍動

付属柏高校新体操部も参加





編集・発行人
社会学部教授
龍崎孝

撮影
社会学科3年
野島菜月美
（龍崎ゼミ）